

埋文やまがた



2011年1月1日

第46号



西谷地b遺跡 (米沢市)



清水2遺跡 (村山市)



松橋遺跡 (村山市)



馳上遺跡 (米沢市)



作野遺跡 (村山市)

平成22年度 発掘調査説明会

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：yac@yamagatamaibun.or.jp

今年度当センターでは、文化財普及啓蒙事業の一環として、「発掘調査説明会」「出前授業」「外部展示」「職場体験」「センター見学・遺跡見学」「体験学習」「山形県埋蔵文化財センター参観デーやまがた埋文まつり」「発掘調査速報会」を実施しました。

発掘調査説明会

	市町村	遺跡名	開催日	遺跡種別
1	村山市	作野遺跡	8月1日	集落跡
2	米沢市	鎌倉上遺跡	9月23日	集落跡
3	村山市	松橋・田向・田向2遺跡	9月26日	集落跡
4	村山市	清水遺跡(1)・経塚森遺跡	10月24日	集落跡
5	米沢市	馳上遺跡・西谷地b地区	11月13日	集落跡
6	村山市	北原4・沼田2・八合田遺跡	11月20日	集落跡
7	村山市	清水遺跡(2)・東熊野苗畑遺跡	11月21日	集落跡

出前授業

郷	実施校	期日	対象・内容
庄内	1 庄内町立余目第四小学校	4月20日	6年社会
	2 鶴岡市立東栄小学校	5月11日	6年社会
	3 鶴岡市立羽黒第四小学校	5月18日	6年社会
	4 酒田市立新堀小学校	5月24日	6年社会
	5 鶴岡市立五十川小学校	5月26日	6年社会
村山	6 山形市立第九小学校	4月15日	6年社会
	7 村山市立戸沢小学校	4月19日	6年社会
	8 河北町立北谷地小学校	4月21日	6年社会
	9 村山市立袖崎小学校	4月23日	5・6年総合
	10 山形市立本沢小学校	4月25日	6年社会
	11 河北町立谷地南部小学校	4月28日	6年社会
	12 大石田町立田沢小学校	4月30日	6年社会
	13 寒河江市立幸生小学校	5月6日	6年社会
	14 山形市立西山形小学校	5月12日	6年社会
	15 天童市立高揃小学校	5月14日	6年社会
	16 天童市立荒谷小学校	5月14日	6年社会
賜	17 村山市立富並小学校	5月21日	6年社会
	18 東根市立東郷小学校	6月11日	6年社会
	19 大石田町立亀井田小学校	6月16日	6年社会
	20 東根市立小田島小学校	7月20日	6年社会
	21 米沢市立興讓小学校	4月16日	6年社会
	22 南陽市立宮内小学校	4月27日	6年社会
	23 南陽市立小滝小学校	5月19日	6年社会
	24 米沢市立塩井小学校	5月25日	6年社会
	25 川西町立中郡小学校	5月27日	6年社会
	26 酒田市立酒田豊学校	10月6日	中学部

体験学習

	団体名	期日
1	はらっぱ館「縄文時代へタイムスリップ」	7月26日
2	寒河江市教育委員会少年少女郷土史講座	8月2日
3	中山町教育委員会 歴史体験教室	8月10日

講座

	講座名	期日
1	夏休み親子発掘体験(米沢市馳上遺跡)	8月8日
2	ふるさと考古学入門	11月14日

外部展示

うきたむ風土記の丘考古資料館 「解明される置賜の歴史像」 期 間：3月24日～9月24日 入場者：6,014人
村山総合支庁（玄関ロビー） 「山形の発掘調査最前線－山形城三の丸跡－」 期 間：6月14日～6月30日 入場者：58人 「山形の発掘調査最前線－上の寺遺跡－」 期 間：7月21日～8月6日 入場者：40人
鶴岡市立図書館（2階展示コーナー） 「足元には文化財－ようこそ鶴岡のむかしへ 見て・ふれて・歴史を感じてみよう－」 期 間：7月17日～8月29日 入場者：185人
山形空港（2階多目的ルーム） 「縄文の華－縄文時代晩期の土器－」 期 間：9月8日～9月21日 入場者：81人
庄内空港（3階多目的展示ルーム） 「発掘された庄内の遺跡－中世・近世編－」 期 間：11月2日～11月18日 入場者：100人

※2011年1月下旬に東紅苑（東根市）で展示予定

職場体験

	団体名	期日
1	山形県立上山高等養護学校	10日間
2	山形市立蔵王第一中学校	3日間
3	上市市内中学校	3日間
4	山形県立東根工業高校	1日間
5	山辺町立作谷沢中学校	1日間
6	山形県立米沢女子短期大学	5日間
7	東京学芸大学	12日間
8	山形県立山形養護学校	5日間

センター見学・遺跡見学

	団体名	期日
1	上市市立南小学校 6年生	5月17日
2	山形県立山形聾学校 6年生	5月18日
3	山形県立寒河江高等学校 実習生	6月4日
4	寒河江市立寒河江小学校 6年生	7月2日
5	上市市立西郷第一小学校 6年生	7月16日
6	うきたむ風土記の丘考古資料館	8月6日
7	米沢市立窪田小学校 6年生	8月30日
8	三川町文化財保護審議会	9月2日
9	東北芸術工科大学 歴史遺産学科1年	10月28日
10	第2金井保育クラブ 3～5年生	11月1日
11	山形県立米沢女子短期大学	11月4日
12	山形県立山形養護学校 中学部	12月2日

山形県埋蔵文化財センター 参観デー やまがた埋文祭り

山形県埋蔵文化財センターでは、普段おこなっている仕事や考古学のおもしろさを体験を通して紹介する「山形県埋蔵文化財センター参観デー やまがた埋文祭り2010」を3年前からはじめました。今年も、10月3日(日)に行い、昨年特に要望のあった縄文服の他に、古墳時代の貫筒衣や平安時代の衣装を加えて記念撮影をしたり、勾玉作りの回数を増やしたりして、たくさんの方が体験できるようにしました。こうした取り組みにより約850名の入場者でとてもにぎわいました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

見てみよう



かかし (西郷隆盛・坂本龍馬)



クイズスタンプラリーの景品



出土品の展示

やってみよう



発掘体験



土器の復元体験



トレース体験



弓矢体験



拓本体験



注記体験

着てみよう・作ってみよう



勾玉作り



石器作り実演



縄文服で記念撮影

平成22年度 発掘調査速報会

12月12日(日)に村山市の^{しょうよう}甌葉プラザで、今年度、山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を行った遺跡のうち6遺跡の調査成果の速報会を行いました。約200名の方にご来場いただき、盛況の内に会を終えることができました。本当にありがとうございました。



山形県埋蔵文化財センターの柏倉専務理事から、来場者にあいさつがありました。



多くの熱心な考古学ファンが参加し、会場は熱気に包まれていました。



予定していた開場予定時間よりも早く、たくさんの来場者に足をはこんでいただき、開場が早まりました。



作野遺跡(村山市)の弥生時代の出土品について、たくさんの質問が寄せられました。



鎌倉上遺跡(米沢市)の須恵器や土師器などの用途について、調査員が説明をしました。



清水遺跡(村山市)では墨書(ぼくしょ)土器を展示し、文字とその意味などについて説明をしました。

火災にあった古墳時代の住居

米沢市 鎌倉上遺跡

鎌倉上遺跡は、米沢南陽道路の米沢北インターチェンジから西へ約350mの所に位置します。第2次調査では、古墳時代前期の集落の他に、後期の集落が存在することが明らかになりました。

確認された主な遺構は、^{いこう}竪穴住居跡12棟、^{かせんあと}河川跡、^{うねあと}畑の畝跡などです。調査区の中央南寄りに、東西方向に流れる河川跡が検出され、河川を境に、南側に3棟、北側に9棟の竪穴住居跡が分布します。南側の住居は古墳時代前期（4世紀頃）、北側の住居は古墳時代後期が中心（6世紀頃）と考えられます。また、火災で焼けたと考えられる住居が確認されました。住居には、建築材が炭化して残り、住居で使われていた^{つぎ}坏や^{かめ}甕などの土師器がそのまま残されていました。

遺物で最も多いのは土師器で、坏、甕、壺、お米を蒸すための^{こしき}甑などが認められます。少量ですが、窯で焼かれた須恵器も出土しました。石製品では装身具の^{くだたま}管玉や、集落内の祭りに用いられた石製模造品、装身具として黒漆が塗られた^{くし}櫛が出土しました。



古墳時代後期と考えられる竪穴住居群です。いずれの住居も、カマドを備えています。



火災で焼失した住居跡です。柱材や屋根材などが炭化して内側に倒れて検出されました。



住居跡の遺物が出土した様子で火災で焼けた可能性があります。床面には土師器の坏が認められます。



住居跡からまとめて土師器と須恵器が出土しました。



捨て場から黒漆が塗られた^{くし}櫛が出土しました。

^{はせがみ} 馳上遺跡は、米沢市役所の東方約1 km に位置する、古墳時代と奈良・平安時代の集落跡です。昨年度（平成21年度）の第2次調査では、30棟近くの竪穴住居跡や掘立柱建物跡、120箱に及ぶ遺物が見つかりました。

第3次調査となる今回は、遺跡範囲西側の、県道1号を挟んだ南北両端域を対象としています。見つかった遺構には、竪穴住居跡や掘立柱建物跡、廃棄物の穴と考えられる大小の土坑、区画や排水に使われた溝跡などがあります。また、遺跡の西側を流れる羽黒川の支流と思われる河川跡が複数見付き、住居跡などの遺構はこれら河川間の比較的安定した場所に築かれていました。出土遺物は、河川跡や住居跡から、奈良・平安時代の土師器・須恵器・黒色土器などが出土しています。

河川は流路を幾度か変えながら北流しますが、集落もその変化に応じて中心を移したことが想定されます。第1・2次調査では、硯や墨書土器といった郡や郷の役所と関連した遺物も出土しています。



県道以北の調査区全景写真です。手前に河川跡、奥には掘立柱建物跡や竪穴住居跡が見えます。



県道より北側の調査区からは、大きな穴が列をなして見つかりました。掘立柱建物跡を構成する柱穴と考えられます。



大型の竪穴住居跡です。長さ9.0m、幅7.3mの長方形で、大人7・8人でもゆうに入れます。



火災にあった竪穴住居跡です。掘り下げたところ、炭化した屋根組材が形をとどめていました。



大型竪穴住居跡の遺物出状況です。写真奥に見えるカマド周辺(炊事場)から、当時の食器類がたくさん出土しました。多くは破片ですが、なかには完形の土器も含まれています。

清水遺跡は、村山市のほぼ中央に位置し、最上川右岸の丘陵地に立地する広大な遺跡です。今年度は二か所の調査を行ったため、便宜上、南側を「清水遺跡(1)」、北側を「清水遺跡(2)」としました。

清水遺跡(2)は水はけのよい丘陵の斜面地に立地していますが、^{たてあな}竪穴住居跡26軒、^{ほったてばしら}掘立柱建物跡が3軒見つかりました。竪穴住居跡は一辺が4mほどのものから8mを超えるものまで様々な大きさが見られます。多くは南壁に横長楕円形のカマドを持ち、床面に張床を設けて水平を保つように調整されています。ST137竪穴住居跡からは大量の炭化材と焼土が出土し、火災で焼失した住居跡であると推定されます。

斜面の一番高いところにある竪穴住居跡は、5回も同じ所で建て替えが行われ、その場所への強い執着がうかがわれます。

各竪穴住居跡に堆積した土の層を観察すると、灰白色の火山灰が堆積しているものも見られました。火山灰は、915年(延喜15年)に降灰した十和田火山のものとみられ、竪穴住居跡からもその前後の時期の須恵器や土師器が出土していることから、9世紀から10世紀初頭の集落跡と考えられます。



火災で焼失した竪穴住居跡です。炭化した建材の下から土器が見つかりました。



斜面に造成した竪穴住居跡です。奥にカマドがあります。



四隅の柱で屋根全体を支えた掘立柱建物跡です。



斜面に造成した竪穴住居跡です。右側に張り出しを持った珍しい形です。奥にカマドがあります。



棟を支える二本の棟持柱を持った掘立柱建物跡です。



竪穴住居跡のカマドです。基礎の部分が、横長楕円形に残っています。

秘宝館

「米どころ山形」の起源（弥生時代）

さくの
作野遺跡（村山市）



波状隆帯のある特殊壺（横から）：同右上（上から）



同じ遺構から出土した石鋸状石製品

作野遺跡は、山形県内陸部の最上川中流域の村山市にあります。現在まで3回調査が行われ、縄文時代後期～晩期（約3,200～2,300年前）にわたるこの地域の拠点的な集落跡とされています。

平成21年に道路工事に伴い、第2次調査が実施され、県内では数例しか見つかっていない弥生時代初頭頃（約2,300年前）の竪穴住居跡が発見されました。

本遺跡からは、たくさんの遺物が出土しましたが、その中で特に、胴部の上半分に波状の隆帯（粘土紐）を貼り付けた壺は、県内や隣県に類例がない特殊な形態で注目される波状文様と呼ばれるもので、一般に弥生時代に入り流行したものです。粘土紐を波状に貼り付けた隆帯文様は、主に福島県会津地方や新潟県北部

などに多く分布します。また、壺の頸部（首）には、連続した刺突文が廻り、これも県内ではあまりみられません。作野遺跡の壺は、波状隆帯などの他地域の文様を模倣しながら、口縁部突起や胴部の底の縄目模様は縄文時代の系譜を引く複合的な土器といえます。山形県は全国的にも「米どころ」として有名ですが、この土器は、最初に本県に米作りがどのように伝わったかを知る上で貴重な資料となります。

作野遺跡では、縄文時代に新潟県糸魚川産のヒスイ製の玉類が出土し、他地域との交流がうかがえることから、そのような求心力のある集落に稲作文化が伝わり、そこを中心として米作りが始まったのでしょうか。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。
なお、郵送料はご負担いただけます。

電話 023(672)5301(代表)

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年おこなった「親子発掘体験」や「ふるさと考古学入門」などの講座を、今年はさらに充実した形で皆様に提供する予定です。本年もよろしくお祈りします。